

PowerEgg

エッグ型ドローン

クイックガイド 日本語版

PEGA-C1.1

目 録

1. PowerEggについて

機体を知ろう

プロポを知ろう

- スタンダードプロポ
- モーションコントローラー
- データ送信モジュール(画像・データ伝送用)

2. 飛行準備

アプリダウンロード・ビデオチュートリアル

バッテリーチェック・チャージ

- 充電器を用意
- バッテリーチェック
- 充電

プロポの準備

機体とアプリの準備

3. 飛行と安全

飛行と撮影

- モーションコントローラーでの飛行と撮影
- スタンダードプロポでの飛行と撮影

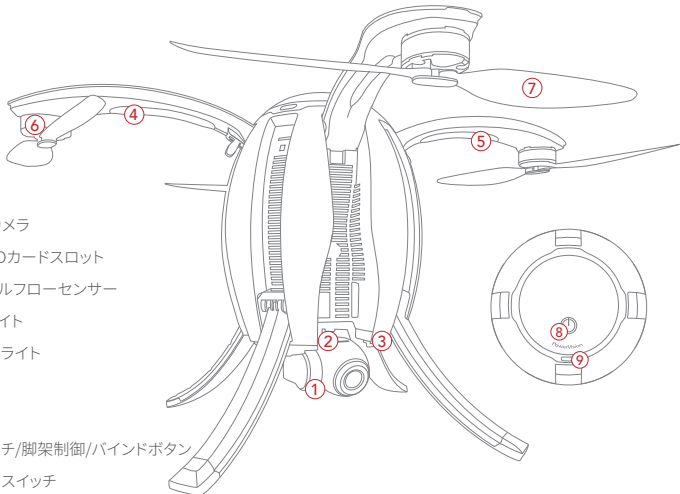
飛行安全

PowerEggについて

機体を知ろう

PowerEggの本体には高精度ナビゲーター・コントロールシステムが搭載され、室内外で精確なホバリング、フライト、自動離着陸、スマートリターンなどの操作の他、スマートフォロー、ビルエッジ・サークル、電子フェンス機能、オートフライトなどのスマートモードが実現できます。また、モーションコントローラーで直感的な飛行操作とジンバルの制御が可能となります。三軸ジンバルカメラは1200万画像の写真撮影、4k高画質ビデオ録画、及び360°パノラマ空撮に対応することができます。飛行速度は最大50km/h、飛行時間は最大23分に達します。

1. ジンバルカメラ
2. カメラ用SDカードスロット
3. オプティカルフローセンサー
4. フロントライト
5. ステータスライト
6. モーター
7. プロペラ
8. 電源スイッチ/脚架制御/バインドボタン
9. ヘッド開閉スイッチ



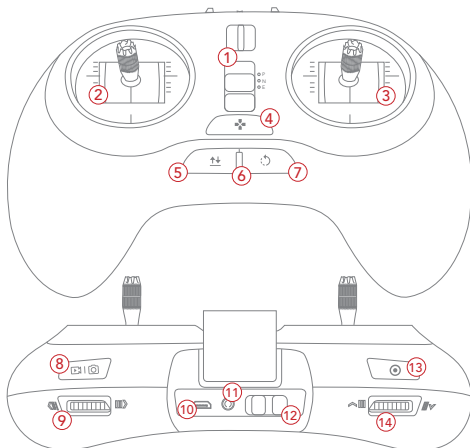
プロポを知ろう

・スタンダードプロポ

PowerEggのスタンダードプロポにはワンキーで離着陸、ワンキーでリターン、ワンキーでフォロー機能と、離着陸脚の収納、ジンバルのピッチングとヨーイングの制御、ワンキーでジンバルの位置戻し・ワンキーでジンバルを下に向ける機能及び撮影、録画などの機能を搭載し、ユーザーはプロポを使うだけで、ドローンのあらゆる動きを簡単に操作することができます。

PowerEggのスタンダードプロポのバッテリー容量は3000mAhで、継続で20時間動作することができます。なお、バッテリー残量はバッテリーインジゲーターを通して把握できます。

1. モードボタン
2. レフトスロット
3. ライトスロット
4. カスタマイズボタン
5. 離陸/着陸/着陸停止
6. ステータス/バッテリーインジゲーター
7. リターン/リターンキャンセル
8. 右前ボタン: 撮影/録画
9. 右のホイール: ジンバルヨーイング
10. MicroUSB充電差込口
11. ケーブル差込口: データ送信
モジュールに接続
12. 電源スイッチ
13. 左前ボタン: 短押し-ジンバル
位置戻し/ダブルクリック-自撮り/
長押し-ジンバル下へ向く
14. 左のホイール: ジンバルピッチング



*リモートモード: 操作習慣により、プロポはモード1 (日本で主流の操作) とモード2 (米国で主流の操作) の二種類のモードが存在します。また、Vision+でカスタマイズすることもできます。初心者の方は、モード2を推奨いたします。

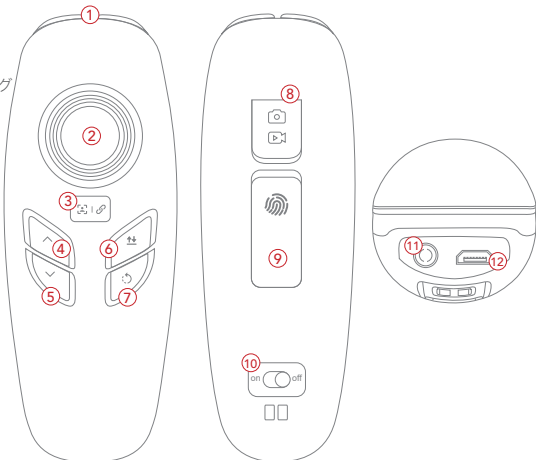
プロポを知ろう

・ モーションコントローラー

PowerEggのモーションコントローラーは、プロポのようにドローンに前後左右自由に操ることができる上、操作を更にシンプル化いたしました。また、ワンキー離着陸、ワンキーリターン、ワンキーフォロー／自撮り機能と、ジンバルのピッチングとヨーイング制御、及び撮影、録画などの機能も搭載しており、ユーザーはコントローラーを使うだけで、あらゆる動きを簡単に操作することができます。

PowerEggのモーションコントローラーのバッテリー容量は1500mAhで、継続で10時間作動することができます。なお、バッテリー残量はバッテリーインジゲーターを通して把握できます。

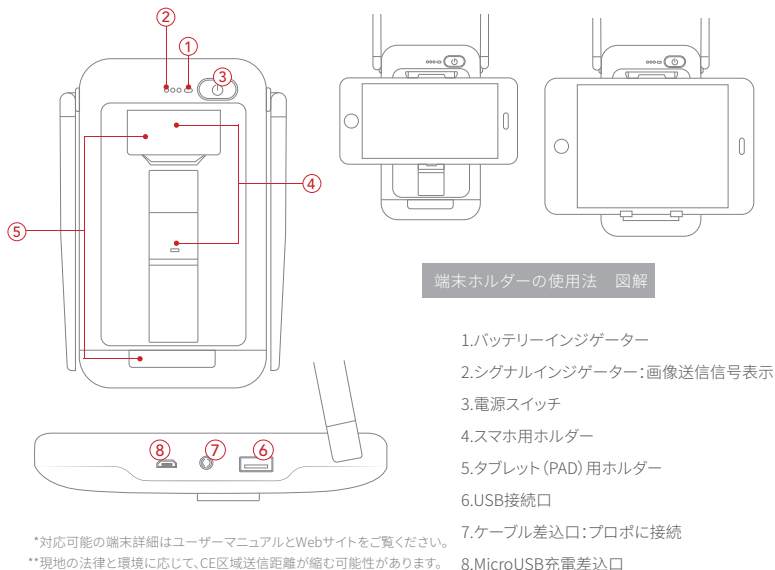
- 1.ステータス/バッテリーインジゲーター
- 2.スロット：上下－ジンバルピッチング
左右－ジンバルヨーイング
- 3.カスタマイズボタン
- 4.機体上昇
- 5.機体下降
- 6.離陸/着陸/着陸中止
- 7.リターン/リターンキャンセル
- 8.写真/ビデオ
- 9.モーションセンサー起動
- 10.電源スイッチ
- 11.ケーブル差込口：データ送信モジュールに接続
12. MicroUSB充電差込口



プロポを知ろう

- データ送信モジュール (画像・データ伝送用)

PowerEggのデータ送信モジュールは最新の高画質画像送信とデータ通信システムをインテグレーションしており、空撮の高画質画像と飛行状態をリアルタイムにスマートフォンやタブレットなど様々な規格の端末に送信することができます*。画像とデータの送信距離は最大5キロまで対応できます**。



*対応可能な端末詳細はユーザーマニュアルとWebサイトをご覧ください。

**現地の法律と環境に応じて、CE区域送信距離が縮む可能性があります。

飛行準備

アプリ及びその他データのダウンロード

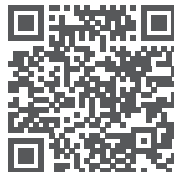
バーコードをスキャンし、Vision+APP、PC Suite、ユーザーマニュアル、仕様書とチュートリアルビデオをダウンロードしてください。



中国区



Europe

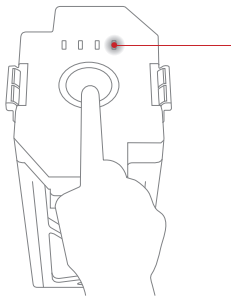


North America

バッテリーチェック・チャージ

- バッテリー残量をチェック

機体のバッテリー

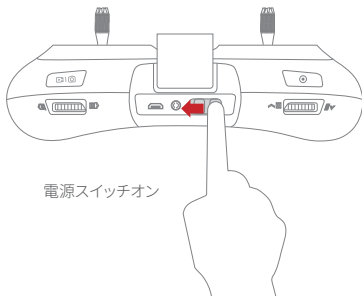


バッテリーインジゲーターをチェック

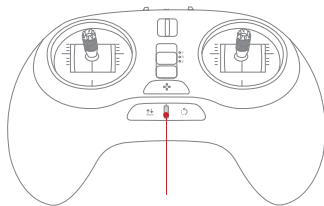
● LED一つ=25%電量

バッテリー上部のボタンを軽く押すと、四つのLEDが点灯します。光っているランプがバッテリー残量を表します。

スタンダードプロポ



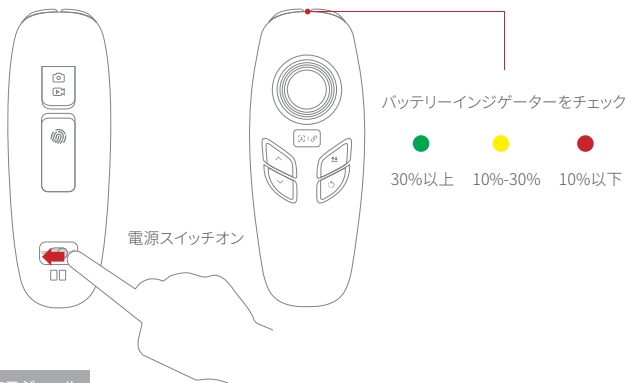
電源スイッチオン



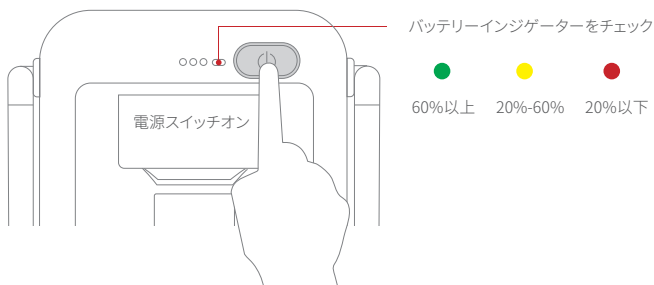
バッテリーインジゲーターをチェック

30%以上 10%-30% 10%以下

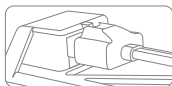
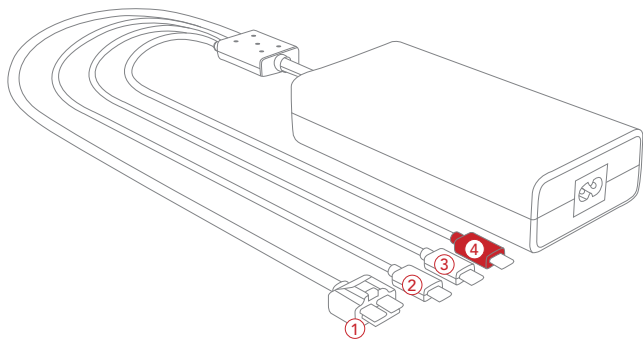
モーションコントローラー



データ送信モジュール



充電器は機体バッテリー、スタンダードプロポ、モーションコントローラー、データ送信モジュールの同時充電ができます。



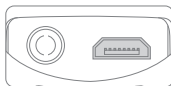
① 機体バッテリー

2.5時間満充電



② スタンダードプロポ

3.5時間満充電



③ モーション
コントローラー

2時間満充電

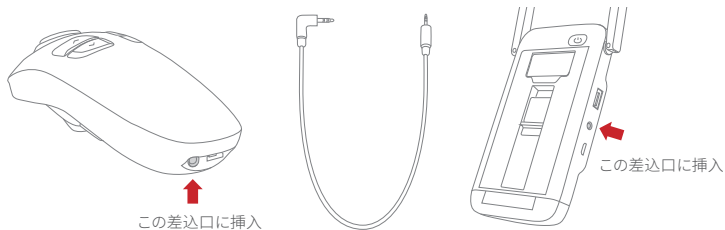


④ データ送信モジュール

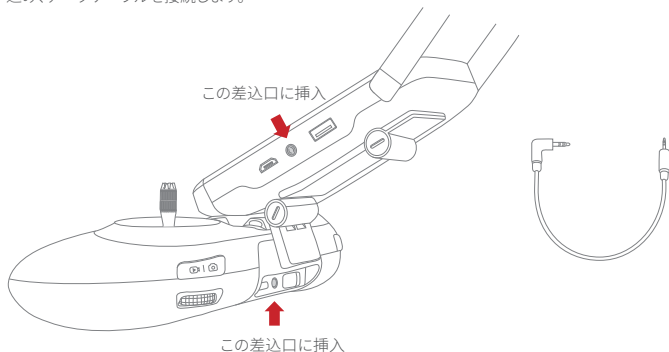
5時間満充電

プロポの準備

モーションコントローラーをフライト制御に使用する場合は、データ送信モジュールをコントローラーに接続します。

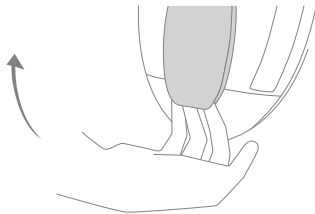


スタンダードプロポをフライト制御に使用する場合は、データ送信モジュールをプロポの回転スタンドに嵌め込み、データケーブルを接続します。

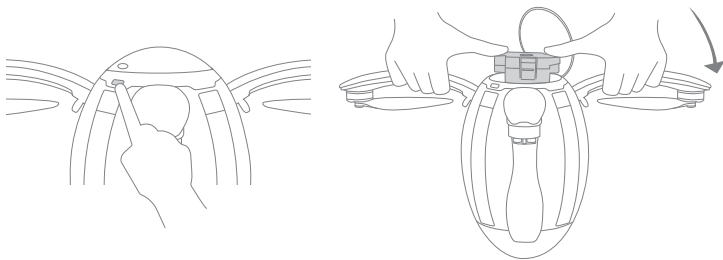


機体とアプリの準備

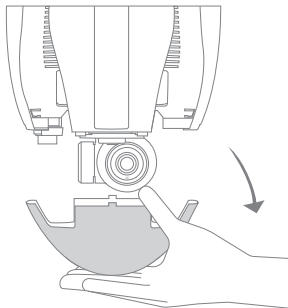
1. 回転翼を広げる、下の図に指示された位置から四つの翼を一つずつ取り出してください。翼が指定位置に達すると自動的にロックされ、「カチャ」という音がします。



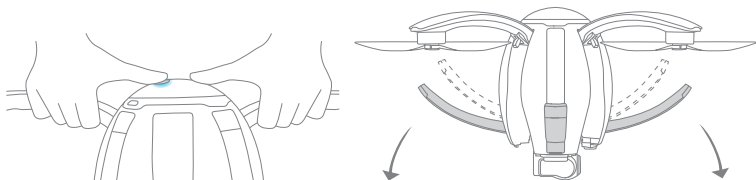
2. ヘッドボタンを押すと、ヘッドが開きます。回転翼を持ち上げながら、バッテリーをバッテリースロットに差し込みます。定位置に達すれば、「カチャ」というロック音がします。注意: 離着陸脚を広げたまま、バッテリーを交換する際は、離着陸脚収納装置を壊す恐れがあるため、バッテリーを直接押さないでください。



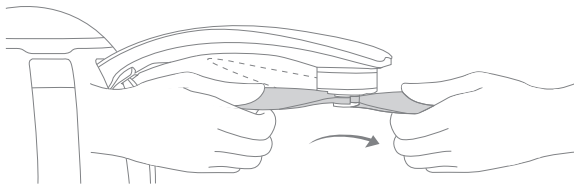
3. ジンバルの固定台座を取り外して下さい。



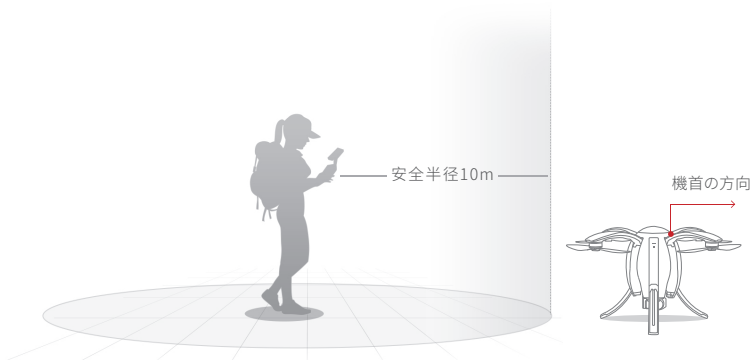
4. 一回短く押してから電源スイッチを長押しして、待機モードに入ると、機体のLEDライトが点ります。この青のステータスライトが点滅しなくなり、アラームが鳴ったら、電源スイッチを三回短押しすることで、離着陸脚が自動的に開きます。



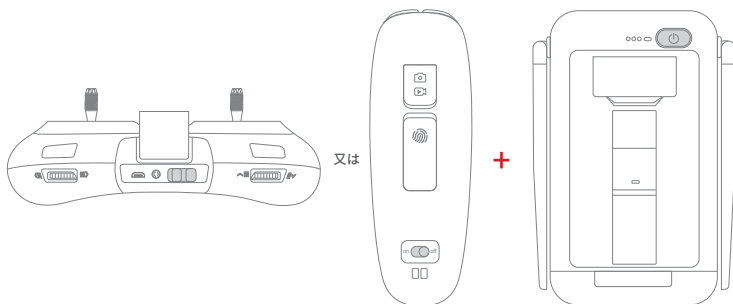
5.両手で機体のプロペラを開いてください。



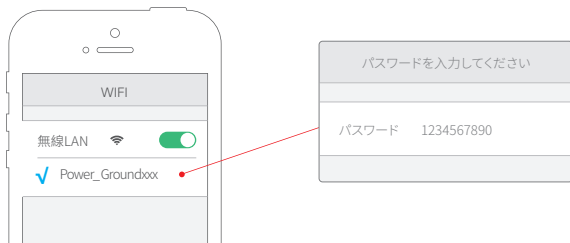
6.機体を10mの安全距離外の離着陸に適した地面に置き、機首を飛行方向に向け、操縦者は機尾の方に面してください。(機首の方向は電源スイッチの方向)



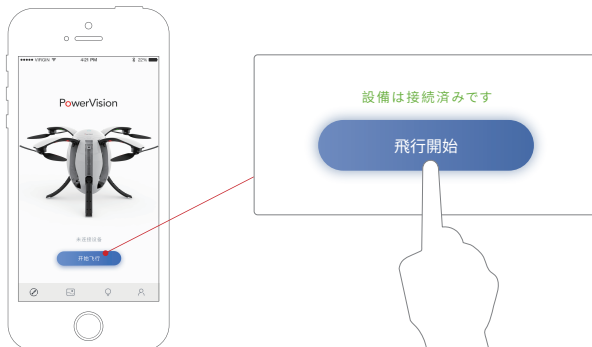
7.スタンダードプロポ/モーションコントローラーとデータ送信モジュールをオンにしてください。



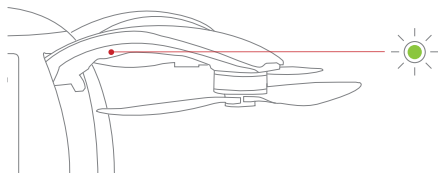
8.スマホを起動し、次の無線に接続して下さい。Wi-Fi: Power_Groundxxx パスワード: 1234567890



9. Vision+を起動して、30秒待ち、画面に「設備は接続済みです」のメッセージが現れれば、「飛行開始」をクリックして、アプリの制御画面に入ります。



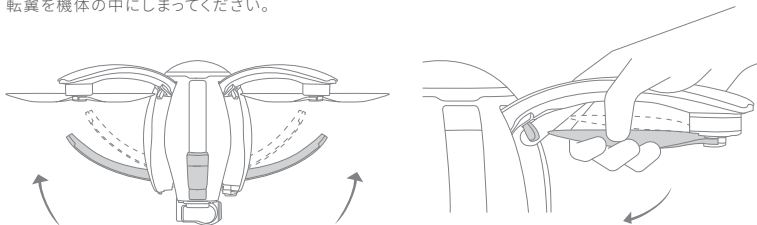
10. P/N/Eモードでの室外飛行は、機体のステータスを表示する赤と緑のLEDが点滅しなくなるのを待ち、またはコントローラーのバッテリーLEDが点滅しなくなるのを待ってから、フライトを行ってください。



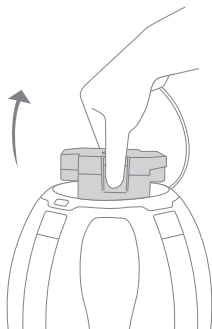
*データ送信モジュールのWi-Fi周波数は5GHzで、5GのWi-Fiに対応できない携帯はデータ送信モジュールに接続できません。Wi-Fiのパスワードは変更、リセットできます。

**知らない場所でフライトを行う際は、飛行中にマップが正常に表示できるように、データ送信モジュールに接続する前にネットに接続し、アプリで当該エリアのマップを拡大しながらスクロールさせ、マップデータを端末にキャッシュさせてください。

11.電源スイッチを三回短押しすることで、離着陸脚が自動的に収納されます。起動する時と逆の手順でプロペラをしまった後、回転翼しまってください、人差し指でロックの解除スイッチを押しながら、回転翼を機体の中にしまってください。



12.バッテリーを取り出して、人差し指でバッテリーのロックを押し込みながら、上に持ち上げて、バッテリーを取り出します。



飛行と安全

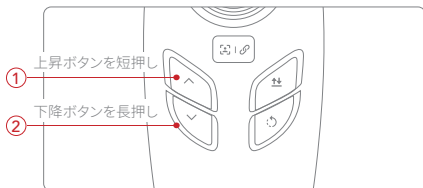
飛行と撮影

二つの飛行制御方式:

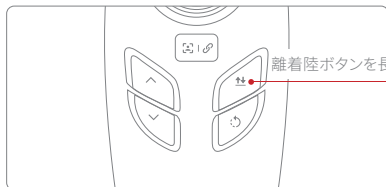
- スタンダードプロポを使用して、スロットで正確にPowerEggの飛行動作を制御。更にワンキー離着陸、リターン、フォロー機能と、離着陸脚の収納、ジンバルのピッチングとヨーイングの制御、ジンバルワンキー位置戻し・下へ向ける及び撮影、録画なども実現できます。
- モーションコントローラーを使うと更に簡単に操作を習得することができます。コントローラーを手に持ちながら動かすことで機体を操作することができ、スタンダードプロポが同様のワンタッチ機能も発揮できます。

• モーションコントローラーによる飛行と撮影

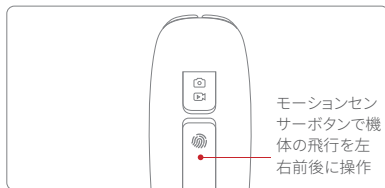
データ送信モジュールとコントローラーを接続後、アプリ上に「イージーモードで安全飛行を行います」というメッセージが表示されます。



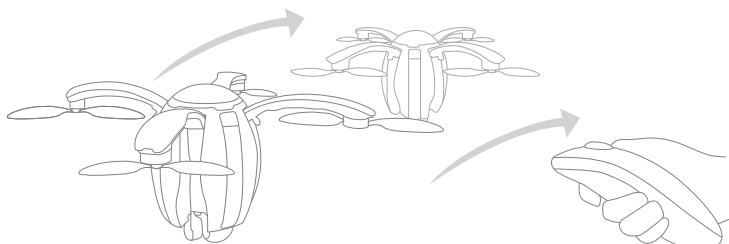
1. プロペラロック解除: 上昇ボタンを押してすぐに手を離し、下降ボタンを長押しする(一秒以内)と、プロペラのロックが解除されます。



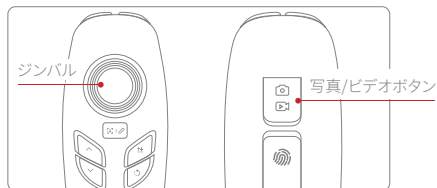
2. 離陸: コントローラーの離着陸ボタンを長押しして、バイブレーションしたら手を離してください。機体が自動的に固定の高度にホバリングします。



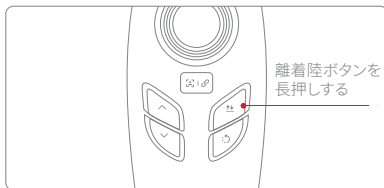
3.飛行制御：上昇と下降ボタンを同時に押すと、飛行高度をコントロールできます。モーションセンサーボタンを押すと、コントローラーを手に持ちながら動かすだけで、機体の飛行を左右前後に操作することができます。



モーションコントロール体験



4.フライト中は、ヨーイング、ピッチングボタンでジンバルを操作したり、写真/ビデオボタンで写真撮影と録画を撮ることができます。短押しが写真撮影で、長押しが録画開始となり、再び長押しすると録画が止まります。



5.着陸する時は、プロポの離着陸ボタンを長押しして、パイブレーションしたら手を離してください、離着陸脚が自動的に展開され、その場に着陸し、プロペラをロックします(着陸途中で離着陸ボタンを短押しして、自動着陸をキャンセルできます。)

*飛行途中で緊急事態が発生する場合、以下の組み合わせ操作キーを2秒長押しすることで、プロペラをロックし機体を緊急停止できます。シンバルピッチアップボタン+機体下降+撮影ボタン。動力を失った機体は慣性に従い、落下しますので、この停止方法は緊急事態発生時のみお使いください。通常は着陸後自動的にモーターが停止します。

**室内のフライトはモーションコントローラが使用できません。スタンダードプロポをお使いください。

・プロポによる飛行と撮影

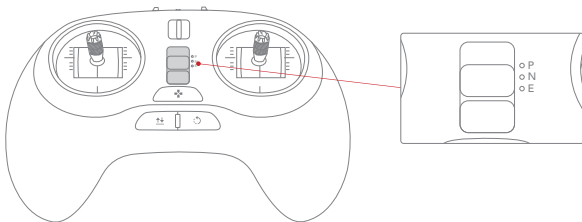
スタンダードプロポの初期設定モードは「モード2(米国主流の操作)」となります。左スロットが昇降舵の操作と飛行方向を制御し、右スロットでエレベータ舵とエルロン舵を操作します。

操作習慣の違いで、プロポはモード1(日本で主流の操作)とモード2(米国で主流の操作)の二種類のモードが存在します。また、Vision+でカスタマイズすることもできます。初心者の方は、モード2を推奨いたします。

モード1(日本流):プロポの右スロットで昇降舵を操作

モード2(米国流):プロポの左スロットで昇降舵を操作

1.フライトモードの選定:スタンダードプロポをNモード(ノーマルフライトモード)に切り替ええると、Vision+に「ノーマルモードで安全飛行を行います」というメッセージが表われます。



- *Pモード (Professional) : プロフェッショナルフライトモード、機体が自動で飛行高度をコントロールし、スロットで方向を操作するモード。
- *Nモード (Normal) : ノーマルフライトモード、GPSモジュールまたは視覚測位システムで室内外の指定位置ホバリングが実現できるモード。
- *Eモード (Easy Control) : スーパーイージーフライトモード、機体がGPSで測位を行うため、ユーザーは機首の方向を分別しなくても良く、操作が一番簡単なモード。

2. プロペラのロック解除: 内側へとスティックを「ハの字」に押してください。

3. 離陸: スロットをゆっくり押し上げ、機体をゆっくり離陸させます。

または、スタンダードプロポの離着陸ボタンを長押しして、パイプレーションしたら指を放すと、機体が離陸後に自動的にホバリングしますので、スロットでフライトをコントロールすることができます。

4. フライト中は、ヨーイング、ピッチングボタンでジンバルを操作したり、写真/ビデオボタンで写真撮影と録画を撮ることができます。

5. 着陸: スロットをゆっくり引き下げ、機体を整った地面に接地させます。昇降舵を一番下まで引き下げ、モーターが作動停止するまで2秒以上保ってください。

または、スタンダードプロポの離着陸ボタンを長押しして、パイプレーションしたら指を放すと、機体が自動的に離着陸脚を下ろし、その場に着陸いたします。(途中で離着陸ボタンを短押しすると、自動着陸をキャンセルすることができます)

*注意: 緊急事態が発生した場合は、次の組み合わせ操作キーを2秒長押しすることで、プロペラをロックし機体を停止させることができます。昇降舵一番下+航方一番左+帰還ボタン。動力を失った機体は慣性に従って落下しますので、この停止方法は緊急事態発生時のみにお使いください。通常は着陸後自動的にモーターが停止します。

安全飛行の条件と注意事項



+



+



+



遮蔽物の無い広い
場所

GPS信号>13個の
衛星

目視範囲内

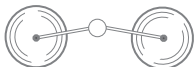
飛行高度120m以下



人の多い場所、樹木、電線、巨大建築物、空港や電波発射塔等から離れた場所でフライトを行って下さい。無線発射塔、高圧線、変電所または磁性をもつ金属の固まりなどがプロポの信号やコンパスを干渉し、飛行安全を脅かす恐れがあります。



降雨、霧、降雪、雷、大風（風速10m/s以上）の天候でのフライトはおやめ下さい。



回転中のプロペラに近づかないで下さい。
ひどい人身損傷や財産損失に遭う恐れが
あります。



飛行禁止区域

詳しくはWebで：
www.powervision.me

PowerVision

www.powervision.me



Available on the
App Store



Get it on
Google play



CHINA
+86 400 870 1088



UNITED STATES
+1 855 562 6699



EUROPEAN UNION
+358 942 450 547



FINLAND
+358 942 450 547



GREAT BRITAIN
+44 135 936 6050



FRANCE
+33 975 186 604



GERMANY
+49 157 3599 7721



SPAIN
+34 518 880 950



ITALY
+39 029 475 6809



POLAND
+48 22 307 2388



NETHERLANDS
+31 85 888 5010



CZECH REP
+42 035 888 0180

Copyright 2017 ©Powervision Robot Inc. All rights reserved.